

# 生ごみの減量化・資源化についての提言

平成21年12月22日

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会

21伊生第178号  
平成21年12月22日

伊那市長 小坂 櫨 男 様

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会  
委員長 橋爪 正

### 生ごみの減量化・資源化について(提言)

本委員会は、ごみの減量化・資源化のために行政その他関係機関がとるべき施策として、生ごみ、紙ごみ、3Rについて検討を進めていますが、今年度実施された燃やせるごみの組成調査では生ごみが約38パーセントを占めています。生ごみの排出を限りなくゼロにするために、「生ごみの減量化・資源化」について下記のとおり提言をいたします。

これらはいずれも本委員会の総意に基づくものでありますので、速やかに、かつ適切に実施していただけるものと期待します。

#### 記

- 1 生ごみ減量化等モデル地区事業の導入の推進。
- 2 生ごみ資源化施設の導入にむけての調査、研究の推進。
- 3 生ごみの減量化・資源化のためのアイデアを掲載した「生ごみ版パンフレット」の作成。
- 4 生ごみ処理容器等購入補助制度が有効に機能されているかの検証。また、その結果による制度の見直し。

[提言内容の説明]

1 生ごみ減量化等モデル地区事業の導入の推進について

伊那市生ごみ減量化等モデル地区事業として、平成20年12月に伊那市西箕輪の県営住宅大萱団地において、大型生ごみ処理機を導入していますが、その後新規に導入されていません。

導入に当たり地区等の協力体制が必要な事業であります。今後は市街地への導入や民間の集合住宅等への導入を視野に入れ、広く普及を図る取り組みをされたい。また、現在の生ごみ減量化等モデル地区事業の推進並びに、現設備の利用者の拡大を図る取り組みや、新たに集合住宅等が設置する大型生ごみ処理機の購入に際しての補助制度の検討をし、広く普及を図られたい。

2 生ごみ資源化施設の導入にむけての調査、研究の推進について

生ごみ減量化・資源化のため、本委員会では駒ヶ根市と佐久市の堆肥化施設を研修してきており、資源化施設の研究が必要と考えます。

生ごみ資源化施設の早期導入にむけて、今後、堆肥化や畜産農家との連携による飼料化等、どのような方法で進めるのか、費用対効果も含め早急に具体的な調査、研究をされたい。

3 生ごみの減量化・資源化のためのアイデアを掲載した「生ごみ版パンフレット」の作成について

広く市民に啓発活動を図ることは重要な施策と考えます。既存のパンフレットの活用も含め、生ごみの減量化・資源化のためのアイデアも掲載した、「生ごみ版パンフレット」を作成し、広く市民への啓発を図られたい。

4 生ごみ処理容器等購入補助制度の検証とその結果による制度の見直しについて

各家庭への生ごみ処理容器等購入補助制度は、生ごみ処理において有効であると考えられます。補助制度が有効に機能しているかを検証するため、被補助者に対して、処理容器等の利用状況の調査を実施されたい。